

A P E Cの食料安全保障に関するプエルト・バラス宣言 概要

全体テーマ「人々をつなぎ、未来を構築」の下、統合されたスマートで持続可能なフードシステムの構築に向けて、食料安全保障の課題に対処。

1 持続可能なフードシステムの強化

- ・ 食料安全保障のため農業、養殖業、漁業の統合政策の策定・実施。
- ・ 気候変動など世界的課題への対応のための農業の積極的役割を認識。
- ・ 食料の損失・廃棄や違法・無報告・無規制漁業への対処。

2 イノベーションと新技術の適応

- ・ イノベーション、新技術は、持続可能な生産性向上の原動力。
- ・ 科学的根拠に基づくことを推奨し、その情報と経験を共有。
- ・ 農業のデジタル化は、フードバリューチェーン（FVC）各段階に影響。

3 協働の促進と FVC・貿易の強化

- ・ FVCにより小規模農家等の市場の情報等へのアクセスが改善。
- ・ 小規模農家等の協働の促進、連携強化ビジネスモデルの策定。
- ・ 透明なルールによるビジネスの信頼性の強化と貿易の活性化。

4 機会をもたらす地域開発の強化

- ・ 包摂的な地域開発の促進のため、強固で地域特有の政策が必要。
- ・ 農業に付加価値を与える持続可能かつ市場に基づいた手法を開発。
- ・ 地域社会における女性が果たす多大な貢献と影響を認識。

5 将来に向けて

- ・ 食料安全保障の課題対処のため、A P E Cの官民セクター協力が重要。
- ・ 2020年以降の食料安全保障の優先事項等の評価と特定。